

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	13-089	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Prevalence of adolescents who perceive their parents to have alcohol problems: a Swedish national survey using a web panel. 両親の飲酒問題を認知している青年割合：ウェブパネルを用いたスウェーデン全国調査		
執筆者		
Elgán TH, Leifman H.		
掲載誌		
Scand J Public Health. 2013 Nov;41(7):680-3. doi: 10.1177/1403494813491859.		
キーワード		PMID
青年、アルコール関連障害、横断研究		23761932
要 旨		
<p>目的： 本研究の第一の目的は、親の飲酒問題を認知しているスウェーデン人の青年割合を推定することである。また、身近に大量飲酒者がいるかどうか、いるとすればそのことで自分が傷ついているか、あるいは、問題を起こしているかという内容のアンケート調査を行った。</p> <p>方法： 16～19歳のスウェーデン人 1,000名をターゲットにウェブパネルより無作為に抽出し、ウェブを基本とした調査による横断研究にて検討した。6つの質問に、「はい」または「いいえ」で答える Children of Alcoholics Screening Test (CAST-6)を含む質問票を用い、両親の飲酒問題を認知しているかどうかを評価した。また、身近に大量飲酒をしている誰かがいるかどうか、いるとしたらそのことが、彼らに問題を起こさせているかについて質問し評価した。データの重みづけには事後層別法を用いた。全回答者は 353名 (回答率は 35.3%)であった。</p> <p>結果： 飲酒問題のある親をもつ青年の割合は 20.1%であった。さらに 44%が身近に大量飲酒者がいると答えており、このことが彼らを傷つけあるいは彼らに問題を起こさせたと答えた割合は 9.6%であった。</p> <p>結論： 我々の知見は、過去の研究結果と同様であった。過去の研究ではより間接的な方法を用いており、本研究においては問題の大きさを評価するために精神医学的インタビューあるいはアルコール摂取の自己申告を用いている。</p>		